

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 27年						平成28年															
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~4日	12月 ~11日	12月 ~18日	12月 ~25日	12月 ~31日
カンピロバクター	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	19	17	13	25	8
病原性大腸菌	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	39	29	26	35	11
腸管出血性大腸菌	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	3	1	1	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	3	4	3	4	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	3	10	4	2	0
腸炎ビブリオ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	1	0	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
アデノウイルス	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	0	8	4	5	4

広島県感染症発生動向週報

平成28年第52週(12月26日~1月1日)

2 一類-二類-三類-四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	18	結核	18	2		4		9	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	つつが虫病	1							1
五類全数	5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1			1				
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		梅毒	2					2		
		麻疹	1							1

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北 部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第52週 12/26～1/1)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

第52週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

・インフルエンザは、学校が冬休みに入ったため報告数が少なくなっていますが、例年、学校が始まると流行が拡大しており、1～2週間のうちにも注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えると予測されます。健康管理に十分注意し、手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防を心がけましょう。

・感染性胃腸炎は、全国的に報告数が多くなっています。手洗いの励行や便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	205	5.54	7.05		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.55	
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.41		小児科	RSウイルス感染症	15	0.63	1.10	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	1.42	1.72		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	147	6.13	12.44		眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.48	
	水痘	18	0.75	1.51		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	10	0.42	0.45		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.37		基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.52	
	突発性発しん	9	0.38	0.33		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.02		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.03							

急増減			前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減			前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減			前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	9	154	女性(10歳代)・1人、男性(20歳代)・2人、女性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・3人、女性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・1人
5	梅毒	2	27	女性(10歳代)・1人、女性(50歳代)・1人

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 異物感 眼瞼腫脹	51	男	2016/11/14	結膜擦過物	アデノウイルス53型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載